一〇二二年度 同朋大学 学校推薦型選抜 社会福祉学部 (公募) 小論文 問題用

次の文章を読んで、 後の問いに答えよ。 (解答はすべて解答用紙に記入すること)

まだ頑張っていない人への言葉かけではありません。ところが〝頑張らないで生きよう〟 言葉がメディアを介して目に触れると、「そうか。頑張る必要はないんだ」と頑張らない人たちも誤解してしまうことが 「頑張らなくてもいいよ」「もう我慢しなくていいよ」とは十分に我慢して頑張ってきた人たちへの労りの言葉であり、 "少し手を抜こう* といった

な大人から「頑張らなくてもいい」と言われると頑張ることを止めてしまうでしょう。 すので、もし勉強嫌いな子どもであれば、 "勉強が好き" 分かりやす *先生に叱られたくない* *友だちに負けたくない* 11 "勉強したい* のが小学校で勉強している子どもたちです。 *学問を楽しみたい*という気持ちで勉強しているというよりも、 さぼれる口実があればいくらでもさぼり始めます。 といった動機づけが先にあることがほとんどでしょう。 7 つも学校で勉強をしていますが、それは子ども 特に、 信頼する先生のよう ″親から怒られたく たちが、 で

得意だから」といって一時しのぎをして計算の習得を頑張らせなければ、その子は確実に授業についていけなくなりま うリスクがあります。 いった安易な言葉かけは、場合によっては無責任であり、今その相手が直面している課題をどんどん先送りにしてしま しかし、何らかの形で頑張らないと、この社会では生きていけないのは事実です。つまり、 ったい誰が責任を取れるのでしょうか。 計算が苦手な子どもに「頑張らなくてもいいんだよ」と言わないまでも、「計算は苦手でも漢字は ″頑張らなくても

どうも点数が取れなくて。その原因が知りたいと思って」といったものがよくあります。 れられて来ることが多いのですが、 現在、私は某市で発達相談をやっています。そこには主に勉強についていけない小学生低学年の子どもが保護者に連 相談ケースには「上のお兄ちゃんは特に勉強で困ることはなか つ たけど、 この子は

援策をお伝えしています。 可能性があるなら親としてやれることはやってあげたいといった気持ちで、これには当方も同意見で、できるだけの支 そこで知能検査を含め様々な検査を行います。多くが境界知能(明らかな知的障害ではないが、 ではどうしたら?今できることをしてあげたい」と答えられます。 おおよそIQ70 ~8)であることが多いのですが、その旨を伝えると、たいていの保護者は「そうだったので 必ずよくなるか分からないが少しでも伸びる 正常域を下回る境界域に

しかし、一方でこう言う保護者もおられます。

っておきたくて」 勉強はい いんです。 本人のペースでのんびり生きたらいいと思います。 ただ、 勉強ができな € 1 原因だけ は

いことなのでしょうか。 保護者のお気持ちはよく分かります。やってもできないのなら勉強を強いると本人が可哀そう、 しかし、この考え方には違和感を覚えます。 *勉強を頑張らなくていい*。これは、 保護者が勝手に決めて といった気持ちもあ

界知能はかつて知的障害と区別されていた時代がありました。(WHO国際疾病分類ICD 小学4年生の中に小学2年生の子が混じっているイメージを想像していてください。 その子どもが例えば境界知能なら、 平均的な子どものだいたい8割くらいの発達レベルです。つまり10 明らかな障害ではありませんので、 小学校では通常学級に在籍します。 歳の子であれ ば、 -8:1965~1974年)。 8歳くらい の しかし、

そしてその後、 小学校中学年、 高学年、 中学校、高校と毎日毎日勉強しに学校に通うわけです。 もし、 そこで勉強しな

が 辛 い 61 てい とどうなるか。 思いをするのです。 かれます。 授業でい また同級生との会話にもつい ったい何が話されているのかも分からず、 ていけず孤立したり、 ただ座っているだけ いじめに遭ったりする可能性も生じ、 で、 同級生からもどんどん置 結局は本人

います。 性を確かめず、 ちがってみんない 親から 能性もあるのです。 61 安心し、 しかし私は、 「勉強しなくていい」と言われると、そもそも勉強がしたくない子どもであれば、 ますます勉強しなくなるでしょう。 一方的にそう考えて、 (1) それは本人自身もそう希望する場合に限る、と思っています。周りの大人が子どもの気持ちや可能 といった声もよく聞きます。 その被害者は子どもたちなのです。 今できることすらさせなければ、子どもの可能性を潰し、 "不器用なままでい これはこれで否定するつもりはありませんし、 い。、みんなと同じにならなくてい 親からお墨付きをも 障害を作りだしてしまう 実際その通りだと思 () () らったと

できて 想像してみてください。もしみなさんが子どもだったとして、いくら親がこのままでいい、 で います。折り合いをつけることができるのは大人ではなく、 いいんだよ! もちろん子ども自身に聞いてもなかなか明確な答えは返ってこないでしょう。 いるのに自分だけができていなければ、 と言っても、 その時はよくても時間が経つにつれて子どもがどんどんと辛くなってくるのは目に見えて かなり辛い思いをするのではないでしょうか。 本人なのです。 理解できないこともあり と言ってくれ そこを大人が゛そのまま ても、 、ます。 みんなが しかし

しても、仕事場では頑張らないとクビにされてしまいます。どこの世界でも頑張らない人は評価されないでしょう。 と義務教育まで保護者や学校の先生の保護のもと、 * とは意味が違います。通常、 子どもに過剰な負担をかけ、 無理をさせてしまうのは避けなければいけないことです。 人は何をするにしても、 生きていけるかもしれません。 努力して頑張らないと生きていけないのです。 しかし、 しかし、 高校に行かず中卒で働くと それ 小学校、 は ″頑張らせな 中学校

子どもには「やったらできるんだから」と言い続けたのです。結局、 るとその子は頑張らなくていいと思い込んでしまい、何もしなくなってしまいました。でも親は無理をさせないように、 ちなのです。 やろうとするたびに、 過ぎて足を少し痛めてしまったので、 ある子どもは、 ない日々を送りました。 *無理をさせる。ことには反対ですが、 保育園の頃からとても頑張り屋さんと言われていました。 その縄跳びの例を出して、 大人となった本人は、親に対してもっとあの時に頑張らせてほしかった、 親が「もう頑張らなくていい」と止めたそうです。 誤って 「頑張り屋さんだから無理したらダメだよ」と声をかけ続けました。 ″頑張らせない″ その子どもは勉強もしない、 になってしまうと、 保育園の頃に縄跳びの練習をあまりに 親は、 ここでも被害者は子どもた それからその子が何か 運動もしない、 と語 っていま チャ す

宮口幸治 (二〇二一) 『どうしても頑張れない .人たち-ケ キの切れ ない非行少年たち2

問1 右の文を読み、二○○字程度で要約せよ。

間 2 右 の文章を読んで 「頑張ること」 Þ 「頑張らせないこと」 に つ 61 てあなたの考えを六○○字以内で述べ